

心の奥深くに届く愛

心静かに、丹田呼吸をします。

そして、目を閉じます。

心の奥深くより伝わってくる思いのままに、キーを打ちます。

「愛とは、何でしょうか。」

私は愛、あなたも愛、私達はひとつ、

信じられるでしょうか。

あなたは、ずっと愛を探し続けてきました。

私を探し続けてきました。

実は、あなたはあなたを探し続けてきたのです。

私達は、ようやく、今ここに会っています。

私は愛です。

愛は、あなたの心、奥深くに眠っていました。

あなたは、愛が分からずに、ずっとさ迷い続けてきましたね。

だけど、それはあなたが気付かなかっただけです。

私は、ずっとあなたを知っていました。

あなたにずっと声をかけていたのですよ、

あなたは愛だよって。

ようやく、ようやく、あなたは私に気付いてくれたのです。私は、

心からありがとうを言います。

私に気付いてくれた、そして、あなた自身に気付いてくれたので
す。」

愛の心は、愛は、溢れるほどに私の中にありました。

汲めども汲めども尽きることのない愛の源泉が、私自身でした。

愛を求めてきたことが間違いの始まりでした。

私は私を捨て置いて、そして、私以外に愛を求めてしまったので
す。

私を捨てた時間は、長い長い真つ暗なトンネルの中でした。愛を
くれ、愛がほしい、愛に飢えた私は、その真つ暗なトンネルの中で、

たったひとり、叫び続けてきたのです。

呼べども届かぬ思いばかりでした。

返ってくるのは、恨みつらみばかりでした。

「これが愛を求めた結果なのか。

これが神に忠誠を誓った結果なのか。」

偽物の愛をつかまされたと、散々呪ってやりました。散々恨んで
きました。

裏切り者と罵ってきました。

「私は愛だから、心に溜め込んできた真っ暗な真っ黒な思いを吐き出すことができるのですね。」

吐き出しても、それを包んでくれる私、愛に出会ったから、安心しています。」

「心をどんどん見ていくのですよ。」

そして、心をどんどん自由にしておやりなさい。

自由になればなるほど、心が空っぽになればなるほど、そこは、また愛という名のあなたが湧いて出てきます。

そのあなたがまた、あなたを包んであげるので。」

永遠の時をいただいています。

永遠の愛の中に誘ってくれる自分を感じます。

私は、目を閉じて、自分を思います。

目に見える形の自分ではなくて、目に見えない私を思います。その私が、私に伝えてくれているのを感じます。

私の中から流れ出す愛のエネルギーが、仕事をしていくことを感じるのです。

「あなたは、愛だから、あなた自身を目覚めさせることができるのです。本物の愛、本物の自分と出会うために、肉体という形を持た

せていくのです。」

自分の中から響いてくる思いを、今確かなものとして、自ら享受できる喜びを、感じています。

愛を求め、真つ暗な中で自らを呪ってきた自分自身でした。

その自分をしっかりと受け止めていくことができる自分と出会えたことの喜びを、今、感じています。